

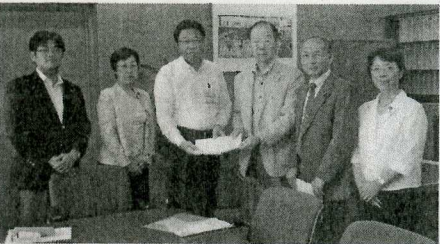
命・くらし第一の予算に

党横浜市議団が要望書提出

日本共産党横浜市議団 度横浜市の予算編成に
対は20日、2013年 対する要望書を林文字

市長宛てに提出しました。大貫憲夫団長ら5市議が参加し、大場茂美副市長に要望書を手渡しました。

要望書は、今夏に党市議団が行った各界、各層との懇談会で寄せられた要望などを踏まえたもの。子育て・教育、福祉・医療、市内経済活性化、防災・環境・平和、行財政運営の柱で、219項目を要望してい



大貫団長は、「市民の命とくらしを守る」という地方自治の精神を市政に反映するには、都市のあり方や都市の骨格そのものを変えなければならず、発想の転換が必要だと申し入れてきたが、市長が9月に発表した「平成25年度予算編成にあたっての市政運営の基本的考え方」などを見ると、申し入れの趣旨が生かされたとはいえず、引き続き発想の転換を訴えていくと述べました。

大場副市長は「しっかり市長に伝える。誠意を持って検討したい」と述べました。

大場副市長(左から3人目)に要望する(右へ)大貫団長の党市議

団 20日、横浜市